

灯



東日本大震災と福島第一原発事故でこの夏の電力不足が心配されている。フクシマは原発見直しの世界的な動きを引き起こし、既存の原発の稼働に対しても当面自製の動きが主流となっている。電気は発電しないという無意味な提案のとうとう当たり前のことを私たちは忘れてしまっていたようだ。

案提 小さな電節 子供も生活日常



輔 義 草野

が行われる。国民も夏の風物詩として熱心に見るときもあれば、時々経過を覗くなど習慣的にテレビはつけっぱなしになっていることが多い。特に準々決勝以降は夏の電力消費がピークになると聞く。

そこで提案だが、夏の高校野球は近年特に都道府県対抗のよきな雰囲気強く、地元代表校の出場時は当然応援したい気持ちは強いだろうから生中継は当該都道府県に絞込み、他地域はラジオで放送する。そうすればつけっぱなしのテレビも減り、少しは節電になりはしないだろうか。

今回の震災ではテレビよりもラジオの方がはるかに役立ったと聞いている。ラジオの見直しにもつながれば二重のプラスになると思う。

日常生活も子供に個室が当たり前になりそれぞれにエアコンなどが設置され、昔みたいに一部屋に集まって家族全員でテーブルを囲む、というところも少なくなってしまうている。そんな生活様式も見直す必要があるだろう。

夏といえは甲子園が頭に浮かぶが、高校野球は全試合生中継

(昭和学園高校理事長・日田市)